

総務常任委員会 連合長挨拶要旨

関西広域連合議会総務常任委員会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

関西広域連合は、設立から3年が経過しました。引き続き、関西の抱える広域的な課題に対して積極的に取り組んでいきたいと考えますので、議員の皆様方のご指導、ご協力をお願いします。

1 1月臨時会以降の主な取組状況を報告します。

改訂を迎えた広域計画については、次期広域計画原案を昨年10月及び11月の総務常任委員会において説明しました。議会はもとより、連合協議会、市町村との意見交換会、さらにはパブリックコメントを通じていただいた幅広いご意見を踏まえ、この度、次期広域計画案を取りまとめました。3月の連合議会に上程を予定していますので、よろしくをお願いします。

また「道州制のあり方研究会」では、先月、最終報告素案について議論がされました。素案では、道州制の検討に当たっては地域の実情に応じた柔軟な対応が必要とされております。本日、連合議会の広域行政システムのあり方検討部会において概要を説明させていただきますが、今後、皆様方のご意見なども伺って、年度内に最終報告が取りまとめられる予定です。

関西としてポテンシャルを有する再生医療などのプロジェクトを国に対し提案した「国家戦略特区」については、国による指定に向けた作業が進んでいます。関西における成長戦略の方向を近畿ブロック地方産業競争力協議会として取りまとめ、関西各地のイノベー

ションを活かし、関西一体とした発展を期していかなければなりません。3月の特区指定に向け、引き続き、強く働きかけを行います。

リニア中央新幹線全線同時開業に向けた取組みについては、昨年12月13日に関西経済界との共催による「リニア中央新幹線大阪同時開業決起大会」を開催しました。そしてその場において、国家プロジェクトと位置づけ政府として東京大阪間の全線同時開業を推進することを求める決議を行うなど、国に対し強く要請を行いました。

さて、関西ワールドマスタースゲームズ2021については、昨年11月10日、京都西本願寺において、国際マスタースゲームズ協会のカイホルム会長並びにロバートエルフィンストーン理事と準備委員会の会長である私が基本合意書の調印を行い、アジア初のワールドマスタースゲームズ開催に向け、大きな一歩を踏み出しました。

ワールドマスタースゲームズを関西で開催する目的は、生涯スポーツの振興と元気で活力ある高齢社会の実現、スポーツツーリズムを通じた地域の活性化、そして、観光や産業分野において関西ブランドを発信するための統一コア・コンセプト「はなやか関西」の世界への発信です。

また、ワールドマスタースゲームズは、オリンピック、パラリンピックと異なり、選手村など特別の施設整備をすることなく、既存の諸施設やホテル等を活用して開催する開放型の大会です。それだけに、選手や関係者に対するおもてなしが大切となります。

このワールドマスタースゲームズを関西で開催することは、生涯スポーツの普及と定着により生涯スポーツ先進地域としての関西を

定着させるのみならず、このことを国内外へ発信することができること、前年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの翌年に実施することにより、連続してその活力を関西へ取り込めること、中高年層を中心としたスポーツムーブメントによる健康・スポーツ関連産業の振興ができること、これまでから根付いている関西のボランティアとおもてなし文化の発揮による温かみのある大会が提供できること、内外の選手や関係者、その家族などを関西に迎え、そして関西を見聞してもらうスポーツツーリズムのフィールドを提供できることなど、非常に意義深いものです。

関西のさらなる活性化の絶好のチャンスと捉え、関西広域連合として、しっかり取組んでいきます。

また、この関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の開催に向け、関西全域における生涯スポーツの気運を高めるため、関西版マスタースゲームズ大会として「関西マスタースゲームズスポーツフェスティバル」を開催します。初年度である平成26年度は、各府県市で開催している生涯スポーツ大会等に「関西マスタースゲームズスポーツフェスティバル」の冠を付ける方式で実施します。

本日の総務常任委員会では、関西ワールドマスタースゲームズ 2021 に関する当面の課題と対応など、現時点の概要について報告します。

また、次期広域計画のスタートとなる平成26年度当初予算原案を報告します

この後、詳細を説明しますので、議員の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます、挨拶とします。

よろしく申し上げます。